



新発見満載！ スペシャルツアー

# 永倉新八と新八改め 杉村義衛

## 千葉県内ゆかりの場所を歩く！

### 終日水風呂炊番 其外ぼんやりブラブラ

新選組幹部として知られる永倉新八。剣術の腕は局中でも有数だったと言う。

その彼が杉村松伯の婿養子となることと名を改めたのが33歳（数え）のとき。その後、40年以上「杉村義衛」として過ごしたが、明治に入ってから暮らしぶりはよく分からなかった。

今年はじめ、壮年期の彼の動静を知る手がかりとなる史料が見出された（「川口家文書」）。それによると、50歳ごろの彼は、千葉郡北柏井村の富農家に数年の間住み込みで働き、「風呂番」や「山林見廻り」が彼の主な仕事だった。明治27年1月8日付の記事には「終日水風呂炊番其外ぼんやりブラブラ」とあり、ずいぶんと長閑な暮らしぶりだったことがうかがえる。史料群には、杉村義衛が仕事の合間や休みをとって、近隣の村へ「撃剣教授」に、



小樽新聞大正2年6月11日付、永倉新八連載に掲載された写真。キャプションは「中年の杉村義衛翁」剣道防具に竹刀を握った勇ましい姿だ

「出かけていたことや、立ち寄り宿泊した家の記載もある。また、彼の家族との通信（郵便）記録などもあった。千葉の地には彼にとって浅からぬ縁が眠っていたのだ。

今回のツアーは、1日目に慶応4年の新選組瓦解後の永倉新八が北での戦いのために通過した千葉行徳から市川、そして松戸までをたどる。2日目は、「川口家文書」を基に、壮年期の彼の姿を追ってゆかりの地をめぐる。

両日とも、彼のひ孫・杉村和紀さん、新選組研究のトップランナー・中村武生さん、そして「川口家文書」の記事を見出した朝山大吾（よみうりカルチャー）が同行。同文書を所蔵する千葉市立郷土博物館の特別協力で、別室で同史料を特別公開いただける。

剣豪の生涯の一端を知り、彼に寄り添う旅。そして新発見を余すところなくお伝えする今回のツアーにぜひ、ご参加ください！

ぼくらと楽しい旅へ  
出かけよう！



## 2025.12.20sat & 21sun

小回りするためにマイクロバス2台を手配。バス代高騰のため、本当にギリギリ価格

- [A] 2日間コース宿泊あり **34,800 円**（シングルルーム・ツイン設定なし）
- [B] 2日間コース宿泊なし（日帰り2日） **24,800 円**
- [C] 12/20（土）のみ **9,800 円**    [D] 12/21（日）のみ **19,800 円**

#### ★集合解散地・時間

- 12/20（土）11時45分 読売新聞東京本社正面前集合 17時30分ごろ松戸駅解散
- 12/21（日）9時40分 JR千葉駅北口ロータリー集合 16時50分ごろ勝田台駅解散
- \*宿泊付きコースの方は、松戸駅近くのホテル泊（朝食付）・翌日は各自千葉駅まで移動
- \*添乗員同行、バスガイドなし、スタッフ同行
- \*[C] コース以外は貸切バス代（2日目）、イヤホンガイド、特別観覧費、「特製・旅のしおり」など含む
- \*食事はついていません。チャーターバス以外の移動費（公共交通機関）は各自負担
- オプション 懇親会（飲み放題）両日とも4,000円前後（後日ご意向をお聞きます）
- [定員] 両日とも30人 最少催行20人
- [企画] よみうりカルチャー    [旅行企画・実施] 読売旅行

## ★ツアーの12大ポイント

1日目は①～⑥、2日目は⑦～です

- 1 永倉新八さんのひ孫・杉村和紀さんと中村武生先生と、慶応4年3月11日の近藤・土方との別れのあとの新八さんの千葉での足取りを追う！
- 2 慶応4年4月13日、新八さんが訪ねた行徳宿を歴史さんぽ



- 3 45階から江戸下町～東葛地域を見下ろし、彼らの歩んだ道を確認